

編集後記

秋も深まり温泉が恋しい季節になってきた。だが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、温泉に行くことを控えている読者もいることだろう。せめても読んで楽しめる温泉の話題をお届けすべく、本号では「世界温泉めぐり」という特集を組んでみた。考えさせられたのは、それぞれの土地でいつから今のような施設や入浴法が生まれ、どう変わってきたのかである。日本の温泉を顧みると、ここ数十年來、近所の銭湯の減少とは裏腹に都市近郊型の日帰り温泉が増え、公衆浴場は健康ランドやスーパー銭湯に姿を変えてきた。他方で、最近の温泉宿では露天風呂付き個室が増えて高級化路線も進んでいる。近所の銭湯文化が風前の灯火であるなか、日本の温泉文化はどう変わっていくのだろう。秋の夜長、その来し方行く末に思いをめぐらせてみるのも一興ではないか。

9月まで対面の編集会議が開けなかったなどの事情から、特集の総論を編集長自らが引き受けることになってしまった。褒められたことではないが、これも新型コロナウイルス感染拡大の余波だとお許し願いたい。この重苦しい時期が明けた後には、山中由里子さんの弁ではないが、海外の温泉に入ってみたくなる人が増える気がするの、わたしだけだろうか。(南真木人)

●表紙：ネパール中部ラスワ郡のチリメ温泉。神名は聞きそびれたが、湯口には源泉を祀る数本の柱が立っていた（撮影：南真木人、1987年）

次号の予告

特集

「激変する世界と観光の現在」(仮)

みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



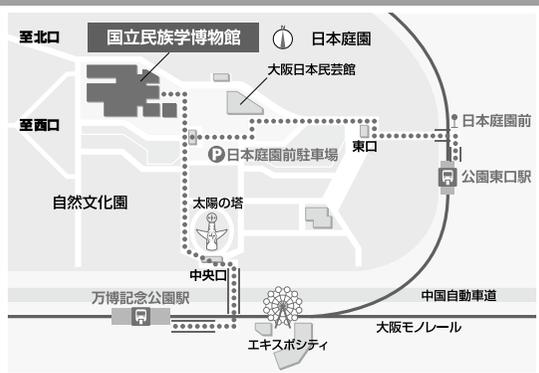
月刊みんぱく 2020年11月号

第44巻第11号通巻第518号 2020年11月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子
編集委員 南真木人(編集長) 上羽陽子 齋藤晃
菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾
デザイン 宮谷一欵 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 株式会社 遊文舎

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

みんぱくフェイスブック
みんぱくツイッター
みんぱくインスタグラム
みんぱくYouTube

<https://www.minpaku.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/MINPAKUofficial>

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

